

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	流域浄化センター施設管理事業費			
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者(課長)	宮本幸雄	評価責任者(部長)	井筒 守	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	流域下水道に接続している地域(熊毛地域)	事業の目的(意図)	流域下水道を利用する地域の水質保全を図る。
事業の内容(手段)	周南流域下水道接続点(5箇所)の水質調査を行い、県に報告する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	山口県流域下水道維持管理要綱に定められた水質分析項目	水質分析結果のうち排水基準を遵守した検体数	検体	目標値	168.0	168.0	168.0
			実績値	168.0	168.0		
			達成度(%)	100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	1,863	1,971	2,028	2,073	2,073
(予算額) うち一財	千円	1,863	1,971	2,028	2,073	2,073	
直接事業費	千円	1,350	1,458		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額) うち一財	千円	1,350	1,458				
正職員人件費	千円	2,198	1,842				
人工数	人	0.30	0.25	0.40			
支出コスト	千円	決) 3,548	決) 3,300				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	山口県流域下水道維持管理要綱に基づき、周南流域下水道接続点(5箇所)で年1回水質調査を実施し、県に報告をしている。	課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 水質汚濁防止法の項目追加により、調査項目が増加する
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	山口県流域下水道維持管理要綱に従い、適切に事業を実施する。	評価責任者コメント	事務事業の方向性のとおり

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
山口県流域下水道維持管理要綱に従い、適切に事業を実施できる予算を確保した。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	流域下水道流入下水水質調査業務	周南流域下水道接続点(5箇所)の水質調査を行う。	周南流域下水道へ異常水の流入がないか調査を行う。	1,458 可	0.25	0.20	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	下水道水質指導監督費			
担当部・課名	上下水道局下水道施設課		評価者 (課長)	宮本幸雄	評価責任者 (部長)	井筒 守

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市の公共用水域	事業の目的 (意図)	事業場からの排出水を監視することで、公共用水域の環境保全に寄与する。
事業の内容 (手段)	特定事業場からの流入水について監視指導を行う。(徳山・新南陽・熊毛地域延べ74箇所・340項目)		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	89.0	74.0
特定事業場排水基準遵守事 業場数		特定事業場排水の調査を実施 した結果、排水基準を遵守した 事業場数	事業場	実績値	82.0	64.0	
				達成度(%)	92.1%	86.5%	

事業 費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	1,367	1,053	891	900
うち一財		千円	1,367	1,053	891	900	900
(決算額)	直接事業費	千円	659	551		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	659	551			
	正職員人件費	千円	2,564	2,947			
	人工数	人	0.35	0.40	0.40		
	支出コスト	千円	決) 3,223	決) 3,498			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	徳山・新南陽・熊毛地域の特定事業場からの流入水の調査を行い、排出基準値を超過した事業場に対して指導を行っている。		課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 調査事業場数、調査頻度が妥当か検討を要する。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	調査事業場、調査頻度を検討する必要がある。		評価責任者コメント	決算額と予算額の乖離が見られるので、事務事業の方向性に記載されている内容も含め検討が必要である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
排水基準遵守が継続できない事業場があり、調査頻度の削減は困難であるが、粘り強く指導を継続していく。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	事業場排水水質調査業務	市内特定事業場からの流入水の調査を行う。	特定事業場からの流入水の監視を行う。	551 可	0.40	0.20	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	中央浄化センター施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者(課長)	宮本幸雄	評価責任者(部長)	井筒 守

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	周南市民(徳山中央処理区内)	事業の目的(意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容(手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、下水汚泥処分、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	水質汚濁防止法に規定される排水基準項目	水質分析結果のうち排水基準を遵守した検体数	検体	目標値	260.0	260.0	260.0
実績値				260.0	260.0		
達成度(%)				100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	342,788	397,492	362,935	337,403
うち一財		千円	342,788	397,492	362,935	337,403	337,403
(決算額)	直接事業費	千円	285,363	330,824		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	285,363	330,824		委託費減額(消化槽清掃終了)	
正職員人件費	千円	25,278	23,209				
人工数	人	3.45	3.15	2.95			
	支出コスト	千円	決) 310,641	決) 354,033			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	昭和41年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守するよう運転管理を行っている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	施設の老朽化に伴って再構築、長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。		評価責任者コメント	事務事業の方向性のとおり、計画的に再構築を進める必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
2か年行った消化槽の清掃も終わり、徳山中央浄化センターの再構築を進める。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	中央浄化センター施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	330,824 可	3.15	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	東部浄化センター施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者(課長)	宮本幸雄	評価責任者(部長)	井筒 守

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	周南市民(徳山東部処理区内)	事業の目的(意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容(手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、下水污泥処分、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					水質汚濁防止法に規定される排水基準項目	水質分析結果のうち排水基準を遵守した検体数	検体
				実績値	260.0	260.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	192,262	200,452	233,387	210,020
うち一財		千円	192,262	200,452	233,387	210,020	210,020
(決算額)	直接事業費	千円	186,037	204,054		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	186,037	204,054		昨年度、一括計上した各浄化センター場内整備費を各施設に分配の為	
正職員人件費	千円	9,525	9,578				
人工数	人	1.30	1.30	1.30			
支出コスト	千円	決) 195,562	決) 213,632				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成2年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守するよう運転管理を行っている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。	評価責任者コメント	財政健全化計画及び下水道事業経営戦略の目標達成を念頭に、優先順位をつけながら、計画的に実施する必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
高分子凝集剤使用数量を見直し、購入予定数量を削減した。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	東部浄化センター施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	204,054 可	1.30	0.20	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	新南陽浄化センター施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者(課長)	宮本幸雄	評価責任者(部長)	井筒 守

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	周南市民(新南陽処理区内)	事業の目的(意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容(手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、下水汚泥処分、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	水質汚濁防止法に規定される排水基準項目	水質分析結果のうち排水基準を遵守した検体数	検体	目標値	260.0	260.0	260.0
実績値				260.0	260.0		
達成度(%)				100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	258,826	252,832	255,988	261,664
うち一財		千円	258,826	252,832	255,988	261,664	261,664
(決算額)	直接事業費	千円	253,249	259,057		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	253,249	259,057		委託費増額(労務単価上昇)	
	正職員人件費	千円	16,119	13,999		動力費増額(重油単価上昇)	
	人工数	人	2.20	1.90	1.90		
	支出コスト	千円	決) 269,368	決) 273,056			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	昭和54年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守するよう運転管理を行っている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。		評価責任者コメント	財政健全化計画及び下水道事業経営戦略の目標達成を念頭に、優先順位をつけながら、計画的に実施する必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
平成30年度まで計画修繕を進めたため、場内整備費を削減した。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	新南陽浄化センター施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	259,057 可	1.90	1.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	北部浄化センター施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者(課長)	宮本幸雄	評価責任者(部長)	井筒 守

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	周南市民(新南陽北部処理区内)	事業の目的(意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容(手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、下水汚泥処分、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					水質汚濁防止法に規定される排水基準項目	水質分析結果のうち排水基準を遵守した検体数	検体
				実績値	260.0	260.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	13,335	12,737	10,542	19,094
うち一財		千円	13,335	12,737	10,542	19,094	19,094
(決算額)	直接事業費	千円	10,367	11,614		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	10,367	11,614		修繕費を東部一括計上から分配の為	
正職員人件費	千円	0	0				
人工数	人	0.00	0.00	0.00			
	支出コスト	千円	決) 10,367	決) 11,614			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成8年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守するよう運転管理を行っている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。		評価責任者コメント	財政健全化計画及び下水道事業経営戦略の目標達成を念頭に、優先順位をつけながら、計画的に実施する必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
平成30年度まで計画修繕を進めたため、場内整備費を削減した。	人工0としているのは、「課の運営方針」で新南陽浄化センター事業の運転維持管理の一環としているため。

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	北部浄化センター施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	11,614 可	0.00	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	鹿野浄化センター施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者(課長)	宮本幸雄	評価責任者(部長)	井筒 守

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	周南市民(鹿野処理区内)	事業の目的(意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容(手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、下水污泥処分、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	水質汚濁防止法に規定される排水基準項目	水質分析結果のうち排水基準を遵守した検体数	検体	目標値	380.0	380.0	380.0
				実績値	380.0	380.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	34,363	40,701	32,023	35,268	35,268
(予算額)	うち一財	千円	34,363	40,701	32,023	35,268	35,268
(決算額)	直接事業費	千円	27,827	37,688		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	27,827	37,688		修繕費増額 動力費増額(電力単価上昇)	
正職員人件費	千円	3,664	3,316				
人工数	人	0.50	0.45	0.50			
	支出コスト	千円	決) 31,491	決) 41,004			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成11年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守するよう運転管理を行っている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。		評価責任者コメント	財政健全化計画及び下水道事業経営戦略の目標達成を念頭に、優先順位をつけながら、計画的に実施する必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
経年劣化した機器の整備を行い、能力を発揮させることにより放流水質を良好に保つ。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	鹿野浄化センター施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	37,688 可	0.45	0.05	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	農業集落排水施設管理事業費			
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者(課長)	宮本幸雄	評価責任者(部長)	井筒 守	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	周南市民(須々万、高瀬、八代処理区内)	事業の目的(意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容(手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、汚泥処分、廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					水質汚濁防止法に規定される排水基準項目	水質分析結果のうち排水基準を遵守した検体数	検体
				実績値	558.0	568.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	79,541	70,960	71,438	70,223
うち一財		千円	79,541	70,960	71,438	70,223	70,223
(決算額)	直接事業費	千円	66,237	63,909		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	66,237	63,909		薬品費減額(薬品購入量見直)	
	正職員人件費	千円	15,753	8,105		委託費減額(非常用発電機点検(3年毎))	
	人工数	人	2.15	1.10	1.85		
	支出コスト	千円	決) 81,990	決) 72,014			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	須々万中央は平成12年に、高瀬は平成12年に、八代は平成18年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守するよう運転管理を行っている。須々万中央は平成28年度に機能増設完了。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。	評価責任者コメント	財政健全化計画及び下水道事業経営戦略の目標達成を念頭に、優先順位をつけながら、計画的に実施する必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
須々万中央については、統合による汚泥処理の効率化が進み運搬・処分費が削減された。また、水質用薬品について削減が可能となった。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	農業集落排水施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	63,909 可	1.10	0.15	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	江口ポンプ場維持費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者(課長)	宮本幸雄	評価責任者(部長)	井筒 守

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	周南市民(徳山中央処理区内)	事業の目的(意図)	ポンプ場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容(手段)	施設の運転維持管理、保守点検、修繕、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	実績値	達成度(%)
ポンプ場内設備の定期点検の実施	保守点検報告書の確認	回	目標値	12.0	12.0	12.0	
			実績値	12.0	12.0		
			達成度(%)	100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	17,949	16,113	10,184	9,282	9,282
(予算額)	うち一財	千円	17,949	16,113	10,184	9,282	9,282
(決算額)	直接事業費	千円	12,827	6,093		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	12,827	6,093			
	正職員人件費	千円	8,792	5,894			
	人工数	人	1.20	0.80	0.60		
	支出コスト	千円	決) 21,619	決) 11,987			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	合流部分は昭和49年に、分流部分は昭和60年に供用開始し、徳山中央浄化センターに送水している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。	評価責任者コメント	財政健全化計画及び下水道事業経営戦略の目標達成を念頭に、優先順位をつけながら、計画的に実施する必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
機器の改良で水道使用料を削減した。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	江口ポンプ場維持費	適正な維持管理を行う。	ポンプ場を効率的に維持管理する。	6,093 可	0.80	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	新南陽汚水中継ポンプ場維持費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者(課長)	宮本幸雄	評価責任者(部長)	井筒 守

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	周南市民(新南陽処理区内)	事業の目的(意図)	ポンプ場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容(手段)	施設の運転維持管理、保守点検、修繕、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	ポンプ場内設備(2か所)の定期点検の実施	保守点検報告書の確認	回	目標値	24.0	24.0	24.0
実績値				24.0	24.0		
達成度(%)				100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	18,011	18,176	24,995	23,323
うち一財		千円	18,011	18,176	24,995	23,323	23,323
(決算額)	直接事業費	千円	17,014	17,502		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	17,014	17,502		修繕費減額	
	正職員人件費	千円	0	0			
	人工数	人	0.00	0.00	0.00		
	支出コスト	千円	決) 17,014	決) 17,502			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	古開作は昭和57年に、福川は昭和60年に供用開始し、新南陽浄化センターに送水している。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した維持管理を行っていく必要がある。		評価責任者コメント	財政健全化計画及び下水道事業経営戦略の目標達成を念頭に、優先順位をつけながら、計画的に実施する必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など) 長寿命化事業により設備更新を進めた結果による、業務費の削減	備考 人工0としているのは、「課の運営方針」で新南陽浄化センター事業の運転維持管理の一環としているため。
--	---

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	新南陽汚水中継ポンプ場維持費	適正な維持管理を行う。	ポンプ場を効率的に維持管理する。	17,502 可	0.00	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	新南陽雨水ポンプ場維持費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者(課長)	宮本幸雄	評価責任者(部長)	井筒 守

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600507	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(7)雨水排除施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	周南市民(新南陽処理区内)	事業の目的(意図)	雨水等による農地、宅地への冠水を防ぎ、市民の財産を保護する。
事業の内容(手段)	施設の保守点検、修繕、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	ポンプ場内設備(6か所)の定期点検の実施	保守点検報告書の確認	回	目標値	72.0	72.0	72.0
実績値				72.0	72.0		
達成度(%)				100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	47,593	48,696	50,749	55,269
うち一財		千円	47,593	48,696	50,749	55,269	55,269
(決算額)	直接事業費	千円	50,385	53,438		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	50,385	53,438		委託費増額(労務単価上昇)	
	正職員人件費	千円	733	368		動力費増額(重油単価上昇)	
	人工数	人	0.10	0.05	0.05		
	支出コスト	千円	決) 51,118	決) 53,806			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	野村開作は昭和55年に、福川は平成7年に、新地は平成23年に供用開始し、雨水排水を行っている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した維持管理を行っていく必要がある。	評価責任者コメント	浸水対策は喫緊の課題であるが、事業規模も大きいため、費用対効果を検証しつつ着実に進める必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
野村ポンプ場の機能強化事業が平成30年度より開始され、平成31年度当初予算も継続事業として進める。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	新南陽雨水ポンプ場維持費	適正な維持管理を行う。	ポンプ場を効率的に維持管理する。	53,438 可	0.05	0.10	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	須々万ポンプ場管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者(課長)	宮本幸雄	評価責任者(部長)	井筒 守

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	周南市民(須々万処理区内)	事業の目的(意図)	ポンプ場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容(手段)	施設の運転維持管理、保守点検、修繕等を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	ポンプ場内設備の定期点検の実施	保守点検報告書の確認	回	目標値	—	12.0	12.0
				実績値	—	12.0	
				達成度(%)	—	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	—	7,867	3,495	7,224
うち一財		千円	—	7,867	3,495	7,224	4,951
(決算額)	直接事業費	千円	—	3,837		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	—	3,837		修繕費増額、委託費増額(廃棄物運搬処分、非常用発電機点検(3年毎)、動力費増額(電力単価上昇))	委託費減額(廃棄物運搬処分、非常用発電機点検)
	正職員人件費	千円	—	2,947			
	人工数	人	—	0.40	0.65		
	支出コスト	千円	—	決) 6,784			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	28年度7月より須々万市地区浄化センターから須々万ポンプ場へ機能変更し須々万中央地区浄化センターへ送水している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画の必要があり、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。	評価責任者コメント	財政健全化計画及び下水道事業経営戦略の目標達成を念頭に、優先順位をつけながら、計画的に実施する必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
浄化センター時から池に残る廃棄物の清掃・処分を行い、衛生的に保つ。 設備の能力が常に発揮できるよう点検を行う。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	須々万ポンプ場管理事業費	適正な維持管理を行う。	ポンプ場を効率的に維持管理する。	3,837 可	0.40	0.05	
②							
③							
④							
⑤							